

2018年8月3日
プレミアムフライデー推進協議会

プレミアムフライデーの継続と振替推奨について

2017年2月24日から始まったプレミアムフライデーは、2018年7月27日で18回目を迎え、経済の活性化及び働き方改革において、前向きな効果を多く生み出してまいりましたが、この度、一部報道の中で「プレミアムフライデーの終了と月曜日への変更」という誤った情報が出ておりました。

ここで、誤解の拡大を防ぐため、プレミアムフライデー推進協議会としての見解をお伝えいたします。

- プレミアムフライデーは引き続き「月末金曜日」で継続いたします。
- 月末金曜日の実施が難しい方へ、「振替での実施」を推奨いたします。

プレミアムフライデーを活用した何らかの活動については、少なくとも既に8,000社（団体）以上で実施され、金曜午後半休の取得推奨や、それを契機にしたノー残業デーの実施、また有給休暇取得も増えているなど、多くの企業で成果が出ているという報告があります。そのため、よりこの成果を広げていくためにも、月末金曜でのプレミアムフライデーの実施は継続してまいります。

その上で、かねてより働き方改革の観点では「月末金曜に実施するのは難しい」との声を受け推奨しておりました、振替での実施を引き続き呼びかけてまいります。

私たちは、プレミアムフライデーがきっかけとなり、様々な働き方改革の工夫や議論が始まっていることを心から喜んでおります。また、働き方改革に関する取組は、誰かに強制されるものではないとも考えております。

そのため、実施日の設定については、職場や地域、個人の実情に応じた、午前休も含めた別日への振替も推奨し、「自分らしいプレミアムフライデー」の実施が広がるよう全国の企業の皆様・自治体の皆様への働きかけを引き続き進めてまいります。